

JA 岡山西の台湾青果物プロモーション (7/21 8:30~15:00)

出席者 別紙の通り

(1) 市場視察

◎上佳水果有限公司

- ・台湾のシャインマスカットのニーズはまだまだある。時期は中秋節が1番
- ・ポイントは粒の大きさ。次いで房の少ない箱(房の大きいもの)。これらを、各店がオリジナルの箱に入れてギフトにする。
- ・長野のシャインは粒が小さくないが、露地ものは入荷が遅く他の産地がないので重宝している。味も安定している。
- ・岡山産の晴王は粒が大きく、指定する人も多いが、ものによって味が違うとの指摘もある。ブランド名として名が通りつつある。課題として、いつまで遅く出荷出来るかがカギ。10月以降の晴王が欲しい。
- ・アレキは、味が台湾好みでない。量もないので浸透しないだろう。



◎上欣水果有限公司

- ・ブドウは粒の大きさが最優先。
- ・台湾でのブドウは巨峰。年2作だからか粒が大きくなる。
- ・晴王を含め日本のシャインには粒の大きさを期待している。
- ・早いもの(6月)はニーズないこともないが、高すぎて買えない。
- ・愛媛のみかんはお菓子を含め年中ある。台湾にはない種類なので人気がある。



(2) 果物専門店視察 (梅林水果)

- ・台北市内の果物専門店を訪問。販売されている状況を見学。
- ・船穂のシャインマスカット化粧箱も奥のショーケースに展示してあった。

- ・お店の人に頼んで生産者番号を確認させてもらった。(桃は和歌山産)
岡山産ピオーネ 1房 1400NTD (≒4900円)
岡山産シャインマスカット(晴王) 1房 2000NTD (≒7000円)
1房化粧箱 3200NTD (≒11200円)



(3) 微風南山店でのトップセールス

◎樹山経理との会談

- ・微風南山店は出来たばかりであり、ギフトの固定客はまだ少ない。いいものを販売しギフト顧客を増やしていきたい。
- ・こちらにも入荷実績のある倉敷市船穂の生産者。
- ・高品質である伝統を引き継いで、後継者も育てており、産地としてまだまだ元気である。
- ・県の事業を活用して、ニューファーマーも受け入れて、伝統を引き継いでいくことにも取り組んでいる。

◎店頭での試食PR

- ・生産者3名による、シャインマスカットの試食PR。
- ・声をかけ始めると試食に多くの人が集まり、10分ほどで終了した。



※生産者の反応

- ・すごく高い価格で売られていて、びっくりした。この値段で売れるのかと思うが買われていると聞き、驚くばかりだ。
- ・岡山産がトップブランドとして認められつつあると実感でき、大きい粒のいいものを送ろうという励みにもなった。
- ・台湾ははじめてだったが、発展しつつあると実感した。